

ゆめ・まち・みらい

vol.44

阪急阪神ホールディングスグループ社会貢献活動

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」グループ従業員向け情報誌 [2020年冬号(年4回発行)]



ぜひご家庭でも
お読みください

社会課題のソリューションを まちづくりによって実現したい

ゆめ・まち・みらい トップインタビュー

若林 常夫

(阪急阪神不動産株式会社 代表取締役社長)

●阪急阪神 未来のゆめ・まち基金
助成対象団体レポート

●ソーシャル・ピープル・インタビュー
岸田 繁さん（「くるり・ミュージシャン）

●グループ従業員の
ボランティア活動レポート

ソーシャルグッズ
読者プレゼント



阪急阪神ホールディングス グループ



こちら事務局

基金ご参加の皆さまへ 応援したい市民団体に一票を!
「ゆめ・まち基金 市民団体助成プログラム」
選考アンケートにぜひご回答ください(1月中旬送付)

皆さまの募金を積み立て、会社からの同額寄付と合わせて阪急阪神沿線の市民団体を助成する「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 市民団体助成プログラム」。11回目となる今年度の公募には、73団体から申請をいただきました。ゆめ・まち基金にご参加の方には、1月中旬に選考アンケートをお送りします。アンケートで高評価の市民団体は、本選考で加点しますので、ぜひご回答ください!

助成プログラム審査の流れ

11月22日(金)
事務局による書類選考

1月中旬
基金参加者アンケート送付

2月3日(月)
基金参加者アンケート締切

2月10日(月)
会社・従業員代表による本選考

3月末
助成実施

本選考における
従業員代表
の方々

阪神電気鉄道 スポーツ・エンタテインメント統括部／梅本佳幸さん
阪急阪神ホールディングス 兼 阪急電鉄 グループ開発室／金本隆浩さん
阪急阪神ホテルズ 経営統括本部 総務部／澤村文さん

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」は随時、皆さまのご参加をお待ちしています!
※詳しくは、下記URLの「グループ従業員向けページ」をご覧ください。

「ゆめ・まち古本チャリティ」実施中!
古本回収期間は1月31日(金)まで

今年は、職場で誰でも気軽に参加できるボランティアとして「ゆめ・まち古本チャリティ」を実施し、外国にルーツをもつ子ども達の教育支援活動に取り組む団体に寄付します。近年インバウンドの影響や在住外国人の増加により、多文化の理解がいっそう必要となっています。国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)でも重要な課題の1つである多文化共生を考えるきっかけとして、従業員の皆さんにご参加いただきたいプログラムです。また、下記の事業所では、集めた古本を使って寄付を募るチャリティ古本市も開催します。ぜひご協力ください!

回収場所 各社指定場所

回収対象 書籍(文庫・新書・単行本)、絵本、コミック単行本、専門書など
※雑誌類・非売品・有害図書は除く。

チャリティ古本
①2020年2月20日(木) 阪急電鉄本社ビル 1F エコルテホール
②2020年2月25日(火) 阪神電気鉄道本社ビル 10F ホール
両日とも11:30~13:30 / 17:30~19:00
※特別企画として多言語の絵本展示やおみくじ、外国の民芸品
コーナーなども実施予定。

寄付先 NPO法人 おおさかこども多文化センター ゆめ・まち基金 第5回助成先

ポイント申請 古本をご提供、または古本市で書籍をご購入などの寄付にご参加いただけます。社会貢献ポイント(5ポイント)を進呈。下記URLの「Topics」より申請書をダウンロードし、3月末日までに、ご申請ください。

なお、期間中、何回ご寄付いただいても、申請は1回限り有効です。

※回収場所など、詳しくは下記URLの「グループ従業員向けページ」内Topics欄をご覧ください。

ソーシャルグッズ
読者プレゼント

5名様に
プレゼント

タトル ジェリーボム

ウミガメの形をした入浴剤は
海洋汚染への警鐘

バスタブに入るとお湯に美しいグリーンが広がり、海藻由来のジェリーがとろとろ溶け出します。ウッド系の落ち着いた香りで、癒しのバスタイムが過ごせます。ジェリーボムが溶けると、ウミガメのお腹の中からプラスチックに見立てる糸寒天が出てくる仕様。「ウミガメが海上に漂うプラスチック製のゴミをクラゲなどのエサと間違えて食べてしまうことで命を落としている」という海洋ゴミの問題について考えるきっかけとなる商品です。

参考価格／950円

製造／LUSH

URL／<https://jn.lush.com/>

※糸寒天が溶けきらず残った場合は、取り除いてから排水してください。

ご希望の方は下記事務局までメールでお申込みください。メール件名を「入浴剤プレゼント希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切：2020年1月31日(金)

編集後記

職場でできるボランティア、「ゆめ・まち古本チャリティ」を実施します!ご自宅に眠っている本はありませんか?あなたの1冊がこども達の笑顔に繋がります。チャリティ古本市にもぜひお越しください!(正岡愛弓)

若林社長にお話を伺い、「まちづくり」における社会課題への対応の重要性を改めて感じました。事業との連携を深めるためにも、引き続き社会課題に向き合いその解決の糸口を探っていきたいと思います。(平野里美)

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは
「未来にわたり住みたいまち」づくりをめざし、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献活動の推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組む当社グループの社会貢献活動です。

責任ある
開拓された紙

FSC® C014687

阪急阪神 ゆめ・まち

検索

若林 常夫

社会課題のソリューションを まちづくりによって実現したい

グループ各社が培ってきた不動産事業のノウハウを集約して
2018年に誕生した総合不動産ディベロッパー、阪急阪神不動産株式会社。
今回は若林 常夫社長に、ディベロッパーの使命である
「まちづくり」について、思いを語っていただきました。

①環境保全と地域コミュニティづくりを両立させた「彩都棚田ファーマークラブ」。②梅田の魅力向上やコミュニケーションの活性化を狙った「梅田ゆかた祭り」の打ち水イベント。③「梅田防災スクランム」では、防災に関する啓発活動を展開している(写真はセミナーの様子)。④温暖化防止と持続可能な暮らしを考えるきっかけをつくる「1000000人のキャンドルナイト@OSAKA CITY」。⑤マンション「ジオ」の廃油回収活動はブランドイメージ向上にも貢献(2012年度グッドデザイン賞を受賞)。⑥マンション「ジオ」で開催している入居者交流会。⑦「ジオ西宮北口ザ・ソフィア」では、環境配慮のため、エントランスホールに間伐材を使用。⑧大阪ツインタワーズ・サウス12Fに設ける、オフィスワーカー専用フロア「WELLCO」では、当ビルで働くワーカー同士の交流も可能となる。⑨「GVH#5」はオフィス空間の提供やビジネスパートナーとの出会いを支援。



グループ全体が掲げる まちづくりへの思いを担つて

阪急阪神不動産(以下当社)は、沿線を中心とするまちづくりを担っています。グループの長期ビジョンには「魅力あるまちづくりの推進」が謳われ、「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」(以下ゆめ・まちプロジェクト)の取組方針にも「未来にわたり住みまいまち」が掲げられています。さらにSDG S(*)のゴールにも「住み続けられるまちづくりを」という目標があるなど、グループ全体で共有するまちづくりへの思いは、そのまま当社のミッションであるといえるでしょう。

ディベロッパーとしての役割は、さまざまなお社会課題への対応を現実のまちづくりに落とし込んでいくこと。高齢化や少子化、自然災害といった社会課題のソリューションをまちづくりによって実現するような視点が、これから時代は不可欠です。ゆめ・まちプロジェクトが設けている「地域環境づくり」と「次世代の育成」につながるような取組みも大切だと考えます。

パートナーシップの魅力は 多角的な視点を持つること

「次世代育成」をめざしたプロジェクトも多様な形で進めています。中でもスタートアップ支援オフィス「GVH#5」は、企業の本社が東京に集中する時代において、関西発のビジネスを生み出す起爆剤になつほしいという思いで開設したオフィスです。若手経営の方々と関わつて驚くのは、社会課題に対する自由で大胆な発想。既存のルールに縛られない多様なスペックを取り入れることができるようになつたことは、まちづくりにとっても大きなメリットだと感じます。ゆめ・まちプロジェクトにも地域の市民団体を支援する「ゆめ・まち基金」がありますね。営利・非営利という枠を超えて、社会課題に向き合うメソッドを多様に持つことがこの活動における最大の魅力ではないでしょうか。

新たな発想で チャレンジすることを大切に

「住みたい」「働きたい」と思われるまちづくりには、社会課題のソリューションを示すことが大切です。現在は、「ベンチャー」「キャッシュレス」「AI」「自動運転」「VR」など、新たな価値観が生まれる時期に差し掛かっています。地域や社会の課題を着実にとらえるためにも、さまざまなステークホルダーと連携し、課題解決の糸口を増やしながら皆さんはひとりが自分の目で見て、自ら知恵を絞り、従来の延長線上でない新たな発想でソリューションを示すことができる社員に成長してほしいと思います。

オフィスワーカーの交流を図るために、専用アプリ「TUNAG(ツナグ) for Hankyu Hanshin workers※2」を開設するとともに、現在建設中の「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」では、ワーカー専用フロアを設ける計画です。また、地域の課題を解決するエリアマネジメントでは、「梅田防災スクランム」と銘打った防災活動を行っています。こういったコミュニティ形成は、住民やオフィスワーカーが、安心して生き生きと生活するうえで、重要な役割を果たすと考えており、このまちで「住みたい」「働きたい」と思うきっかけにつながっていくと考えています。

グループ間での連携による 可能性は無限大

地球環境も重要なタスクです。梅田で開催する「1000000人のキャンドルナイト」では、温暖化防止と持続可能な暮らしを考えるきっかけを提供しています。また、オフィスビルや商業施設、マンションの開発にあたっては屋上緑化や自然エネルギー、沿線地域の間伐材の利用など、環境に優しいビルや家づくりを推進しています。このようなまちづくりは、デバイロッパーの社会的使命。エコや社会貢献がブランドの価値を高める要素であると感じています。さらに、ジオなどのマンションでは、居住者から使用済みの天ぷら油を回収し、阪急バスでCO₂を排出しないバイオディーゼル燃料として利用する仕組みを構築しました。阪急阪神HDグループは、暮らしのあらゆる領域に事業を展開していますが、この活動はグループ間のネットワークで連携できた事例だと思います。ゆめ・まちプロジェクトも社会貢献を通してグループ間をつなぎ、新しい価値を生み出している点では同様ですね。

不動産コアの社会貢献活動

人づくり

- 阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊
- 小学生向け出張授業「阪急ゆめ・まちわくわくWORK」の講師として参画
- HANKYU BRICK MUSEUM
レゴの街「未来のOSAKA」制作展示
阪急阪神ビルマネジメント

地域環境づくり

- 「梅田ゆかた祭」における打ち水イベント
阪急電鉄、阪神電気鉄道 ほか
- 1000000人のキャンドルナイト
@OSAKA CITY 茶屋町スロウディ
阪急電鉄 ほか
- 1000000人のキャンドルナイト
@OSAKA CITY 西梅田ナイト
阪神電気鉄道
- 彩都棚田ファーマークラブ
阪急阪神不動産
- 地域の美化・清掃活動
阪急仁川スポーツガーデン



防災都市への第一歩

「次世代育成」をめざしたプロジェクトも多様な形で進めています。中でもスタートアップ支援オフィス「GVH#5」は、企業の本社が東京に集中する時代において、関西発のビジネスを生み出す起爆剤になつほしいという思いで開設したオフィスです。若手経営の方々と関わつて驚くのは、社会課題に対する自由で大胆な発想。既存のルールに縛られない多様なスペックを取り入れができるようになつたことは、まちづくりにとっても大きなメリットだと感じます。ゆめ・まちプロジェクトにも地域の市民団体を支援する「ゆめ・まち基金」がありますね。営利・非営利という枠を超えて、社会課題に向き合うメソッドを多様に持つことがこの活動における最大の魅力ではないでしょうか。

(※1)2015年の国連サミットで採抲された「持続可能な開発目標」。貧困や健康、環境、教育など17の目標と169のターゲットから構成。2030年までの達成をめざし、開発途上国のみならず、日本を含む先進国が積極的に取り組んでいます。

(※2)阪急阪神グループのオフィス物件のワーカーが参加でき、サークル活動各種イベントの告知・申込みができる「コニソン」が用意されている。



series 108 おもちゃの修理を通して「感謝」の気持ちを育む こどもも、大人も、笑顔になる「病院」

壊れたおもちゃを無償で修理する「神戸・灘おもちゃの病院」。神戸・灘エリアを中心に月1回ずつ9カ所で「開院」している。手順はまず、おもちゃの状態を「カルテ」に書いてもらい、それをもとに会員である「ドクター」が「問診」をする。そして、おもちゃを分解して「治療」に当たるのだ。

分解時は、必ずその過程をこどもに見せ、どこが壊れているのか、なぜ壊れたのか、どうすれば直るのかを伝えている。会長の加藤正博さんは、「おもちゃの内部にも興味を持ち、壊れない使い方も知ってほしいから」と語る。「おもちゃを持ってくるのは就学前の子が多いが、みんな驚くほど集中して聞いてくれる」と言う。ちなみに、その場で直せないおもちゃは「入院」となり、次の開院日に返却されている。

この病院は、加藤会長が偶然、大量の捨てられたおもちゃを目にしたことをきっかけに立ち上げられた。かつて、壊れたおもちゃは家族の誰かが直してくれたりしたが、核家族の増加などにより、こうした習慣は薄れてきた。だからこそ「じいちゃんが孫のおもちゃを直す」の精神で、「世の中のこども達は、みんな自分の孫。そうとらえて、みんなで助け合っていきたい」と加藤会長は話す。「一番感じてほしいのは『感謝』の気持ちです。おもちゃへの感謝、買ってくれた人への感謝、直ったことへの感謝。だから、直ったおもちゃを抱いて『ありがとう』と言ってもらえると、本当に嬉しいですね」



神戸・灘おもちゃの病院 団体助成

活動の趣旨に賛同していただける会員、もしくはご寄付を募集しています。興味がある方は、フェイスブックをご覗いてください。

U R L: <https://www.facebook.com/kobenadaomocha/>
E-mail: kato912@oton.zaq.jp

すべてのドクターが受付も担当。こどもとのやりとりはもちろん、普段あまり話す機会のない、若いお父さんお母さんとのコミュニケーションも楽しんでいる。

series 106 人工島「六甲アイランド」を 花いっぱいの“ふるさと”に

1988年に誕生し、街開き30年が経過した六甲アイランド。「人工島」「埋立地」というとどこか無機的で殺風景なイメージを持つが、住宅地を緑が包み、多くの水路が流れる美しい場所だ。

そんな「清潔で快適」な六甲アイランドを維持するため活動するのが、「六甲アイランドを美しい街にする会」。島にある企業や学校の児童と行う「クリーン活動」は、ゴミのない街を保ち、こども達がモラルやマナーの大切さを学ぶ環境学習の機会にもなっている。また、島内に草花を植え憩いの場を提供する「花いっぱい活動」の一環として団体が主催する「チューリップ祭」では、準備から手入れまで一連の作業を会員が行い、島内5カ所に約3万本のチューリップを咲かせる。このイベントには毎年島内外から多くの人が訪れ、島の名所として定着している。

「未来を担うこども達にとって六甲アイランドが、ずっと住み続けたいと思える居心地良いふるさとであるようにー」。そう願いながら、活動を続けている。



六甲アイランドを 美しい街にする会 団体助成

T E L: 078-858-2009

U R L: <https://hyogo-communitynetwork.com/machikai/index.html>

事務所: 神戸市

私たちの街。
見守り、育てる、

series 107 命の尊さと、人との関わりを学ぶ 自然はこども達の「教室」だ



「これ、前にも見たね!」と繰り返しテキストを見ることで知識が蓄えられる。

ひょうご自然教室 団体助成

T E L: 080-2115-9415

E-mail: hyogo_sizen@yahoo.co.jp

U R L: <http://hyogosizen.wp.xdomain.jp/>

事務所: 神戸市

小学1年生～中学3年生のこどもを対象に、自然体験学習のイベントを開催する「ひょうご自然教室」。月1回の自然観察会の目的は、大自然のなか、季節ごとの多様な体験を通して、動植物の生命の大切さと自然と人の関わり方をこども達に伝えること。各活動で使うテキストをファイリングできるカード型にし、得た知識を一過性のものではなく、残しておけるよう工夫をしている。

発足は1972年。47年間の活動の中で、のべ3,000回以上の自然観察会を実施し、4,000名以上の小・中学生が参

加した。その活動範囲は兵庫県内にとどまらない。夏休みを利用して徳島県の山村で生活したり、過去にはオーストラリアの歴史ある町で現地の環境教育を学んだり…。普段の生活とは異なるさまざまな体験は、多感な時期のこども達にとって大きな刺激となり、地球環境や自然環境への関心を深めるきっかけとなっている。実際、多くの会員OB・OGたちは、自然に関わる職業に就いたり、研究活動を続けるなど、ここで経験を活かしているのだ。

グループ従業員のボランティア活動レポート

従業員・OBの皆さまの参加するボランティア団体に、阪急阪神ホールディングスが上限3万円を支援する「ゆめ・まち“ええこと”応援団」。2018年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。

3団体を
ピックアップ!!

兵庫神戸ポニー/神戸市

阪神ケーブルエンジニアリング
片岡将司さん

硬式野球を愛好する少年達の心身の鍛錬と健全な育成を図ります。



支援金で整備用黒土を購入。
グラウンドが見違えるほどきれいに!

武庫山わんぱく会/宝塚市

阪急阪神ホールディングス
隅田和博さん

土と触れ合うことで世代間を通じたコミュニケーションを促します。



地元の共催イベントとして焼き芋大会を行いました。多世代の交流を楽しめました。



西明石モンキーズ/明石市
阪神電気鉄道 梶野亮平さん

勝った喜びや負ける悔しさを知り
心も体も日々成長してほしい。

幼稚園の年長から小学6年生まで、幅広い年齢層が参加する少年少女野球チームです。活動は土・日・祝日の朝から夕方まで。しっかりと練習して実力をつけて、地域のリーグで優勝するのが目標です。最近は「勝ち負け」にこだわらない風潮がありますが、勝つ喜びや負けた悔しさを味わうことも大事ではないでしょうか。もちろんプレイだけでなく、野球を通して礼儀や協調性も学んでほしい。最初は挨拶もスライディングもできなかった子が、成長していく姿を見るのがコーチの醍醐味です。



多くの試合を経験できる
よう3大会にエントリー。
支援金を活用しました。

フォルテFC/豊中市

阪急バス 倉内光一さん

JFA全日本U-12サッカー選手権大会で、3位になりました。

山手エンジェルス/吹田市

阪急電鉄 家近真一さん

キックベースボールの大会で好成績を収めることができました。

長尾台ミニバスケットボールクラブ/宝塚市

阪急交通社 坂井信教さん

長尾台小学校を拠点に活動する小学生対象のチームです。

関目東ライオンズ/大阪市

阪急バス 瀧川文章さん

野球を通じた青年育成を目的とする団体です。

高槻フェニックス少年野球団/高槻市

ペイ・コミュニケーションズ 石井祐さん

大会参加費に使用しました。子どもの成長に繋がる支援に感謝します。

やしろの森公園協会/加東市

阪急ビルマネジメント 河内猛夫さん

レクリエーション活動を通じて里山づくりを推進しています。

真堂会館(大庄北支部)/尼崎市

阪神電気鉄道 玉沖好広さん

空手を通じて挨拶・心身の鍛錬と健全な育成を図ります。

市民団体の活動参加のススメ

File
33

春休みこどもスキースクール&
雪遊びキャンプ

春休みはこども達だけでスキー＆雪遊びに行かせてみませんか。4歳から参加でき、年間を通してトレーニングしているカウンセラーが24時間体制で一緒に活動します。夜にはお楽しみレクリエーションも待っています！

日 時：2020/3/26(木)～28(土)(2泊3日)
場 所：岐阜県飛騨高山スキー場
参加費：スキースクール36,000円(税込)
雪遊びキャンプ31,000円(税込)
参加方法：下記HPよりお申込みください。



File
34 連続講座
「子ども条例の活かし方」第3回

2019年は、「子どもの権利条約」が国連で採択されて30年、日本が批准して25年。これからも関西で「こどもにやさしいまち」をめざす施策が展開されるよう、「子ども条例」を学び、アクションにつなげる講座です。

日 時：2020/1/13(月・祝)14:00～16:30(受付13:30～)
場 所：大阪市立総合生涯学習センター6F
参加費：1,000円(税込) ユース(18～25歳)500円(税込)
参加方法：下記HPよりお申込みください。



お問合せ先：のあく自然学校

TEL：072-805-3230 E-mail：info@noac.jp
URL：https://noac.jp

お問合せ先：子どもの権利条約関西ネットワーク

TEL：06-6648-1120 E-mail：kodomonokenrikansai@gmail.com
URL：http://kodomonokenrikansai.wix.com/network

Social People Interview

岸田 繁さん（「くるり」・ミュージシャン）



こども達の創造性に驚かされた出張授業「ゆめ・まちプロジェクト」の10周年特別授業では、こども達に曲づくりの楽しさを体験してもらいました。「線路はつくよどこまでも」のメロディに、街中や自然の中で録音した音をのせた編曲にチャレンジしたのです。友達の笑い声、川のせせらぎ、

神社の鐘…こども達が発見したさまざまな音が、聞き慣れた曲をまったく新鮮な印象に変えるクリエイティブな作業でした。私が音楽をつくるときにも、譜面や理論に向き合ってよりも、偶発的に聞こえてくる日常の音にインスピレーションを得ることが多い。創作とは遊びや偶然の延長線上にあることを、あらためて実感できました。

「音楽の授業は嫌いだった」「小学校時代から鉄道が好きだった」など岸田さんの素顔にもふれることができた授業。最後にはリクエストに応えて弾き語りも披露され、その歌声にこども達は感動。

社会貢献という言葉は使わない

「京都音楽博覧会」は、「くるり」の地元で毎年開催する音楽フェスティバル。リユース食器を使ってゴミを削

減したり、マイボトルやマイ食器で飲食する参加者に特典があつたり、環境に配慮したイベントでもあります。アーティストというイメージが濃く、このような活動がクローズアップされると、どうしてもソーシャルな感覚でいるつもりはないんです。なぜって本当にゴミ問題を解決するなら野外フェスなんてやらない方がいいわけですから、環境保護を

アーティストとしているつもりはないんです。なぜって本当にゴミ問題を解決するなら野外フェスなんてやらない方がいいわけですから、環境保護を

アーティストとしているつもりはないんです。なぜって本当にゴミ問題を解決するなら野外フェスなんてやらない方がいいわけですから、環境保護を

アーティストとしているつもりはないんです。なぜって本当にゴミ問題を解決するなら野外フェスなんてやらない方がいいわけですから、環境保護を

アーティストとしているつもりはないんです。なぜって本当にゴミ問題を解決するなら野外フェスなんてやらない方がいいわけですから、環境保護を

アーティストとしているつもりはないんです。なぜって本当にゴミ問題を解決するなら野外フェスなんてやらない方がいいわけですから、環境保護を

人気ロックバンド「くるり」のボーカルであり、クラシックのオーケストラ作品を作曲するなど多彩な音楽活動を展開する岸田繁さん。昨年には「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」（以下「ゆめ・まちプロジェクト」）の「環としてご自身の母校である京都市の紫明小学校で、音楽の出張授業を行ってくださいました。

こども達に教えるつもりが、学んだのは自分自身でした。

